

加曽利貝塚特別史跡指定記念シンポジウムを開催します
～「縄文の美」をテーマに千葉市美術館とコラボ！～

千葉市若葉区にある加曽利貝塚の特別史跡指定を記念し、千葉市美術館にて縄文時代の美を考えるシンポジウム「縄文の美ー縄文の造形と現代美術ー」を開催しますので、お知らせします。

1 趣旨・目的

平成29年10月に貝塚として初めて国の特別史跡に指定された加曽利貝塚をより多くの人々に知ってもらい、身近に感じてもらうため、美術の視点から縄文時代の造形を考えます。

縄文土器や土偶の造形の美しさについて国内外の考古学や美術史の研究者による講演・発表を行うとともに、現代美術や私たちの暮らしの観点から縄文時代の美を考えるパネルディスカッションを開催します。

2 実施概要

(1) 開催日時

平成30年6月3日（日） 11:00～17:00

(2) 会場

千葉市美術館 1階 さや堂ホール（中央区中央3-10-8）

(3) 定員

約150人 ※定員を超えた場合、11階講堂にて会場の映像を中継いたします。

(4) 申込方法

当日受付（事前申込不要）、参加費無料

(5) 構成

「4 シンポジウムスケジュール」のとおり

3 関連展示

(1) 展示日時

平成30年6月1日（金）13:00から～6月3日（日）17:00まで

(2) 展示場所

千葉市美術館 1階 さや堂ホール

(3) 展示概要

ア 縄文土器展示

縄文時代の造形の美しさを来場者に紹介するため、日本を代表する復元縄文土器の製作者として知られる戸村正己氏の製作土器・土偶を展示する。

イ 市内出土土偶の展示

縄文時代に千葉市域で暮らしていた人々の造形を来場者に伝えるため、市内の遺跡から実際に出土した土偶（千葉市花見川区内野第1遺跡出土）を展示する。

ウ 特別史跡加曽利貝塚パネル展示

加曽利貝塚の価値と魅力を来場者に伝えるため、出土した遺物を写真で紹介する。

(4) 展示解説

6月3日（日）15:30～15:50

4 シンポジウムスケジュール

時 間	発表等タイトル	発表者等	備 考
11:00～11:10 (10分)	開 会 主催者あいさつ	磯野 和美 千葉市教育長 河合 正朝 千葉市美術館長	10:30 開場
11:10～12:00 (50分)	【基調講演】 ヨーロッパの視点から見た縄文アート	サイモン・ケイナー 英・セインズベリー日本藝術 研究所統括役所長兼考古・文 化遺産学センター長	
12:00～13:30	昼食・休憩		
13:30～14:00	【パネリストによる発表①】 縄文の美	小林 達雄 國學院大學名誉教授	
14:00～14:30	【パネリストによる発表②】 縄文食の多様性と物質文化	羽生 淳子 カリフォルニア大学 バークレー校教授	
14:30～15:00	【パネリストによる発表③】 岡本太郎と縄文	山下 裕二 明治学院大学教授	
15:00～15:30	【パネリストによる発表④】 縄文の美の背景にあるもの	戸村 正己 千葉市埋蔵文化財調査セン ター土器製作技術研究員	
15:30～15:50	展示解説・休憩	戸村 正己 ほか	
15:50～17:00	【パネルディスカッション】 ●コーディネーター 河合 正朝 ●パネリスト 小林 達雄、サイモン・ケイナー 羽生 淳子、山下 裕二 熊谷 俊人(千葉市長)、戸村 正己		17:30 閉場